

市長メッセージ

～新型コロナウイルス(デルタ株)の感染拡大防止について～

令和3年 8月27日

豊見城市長 山川 仁

1 沖縄県緊急事態宣言

政府は沖縄県への緊急事態宣言措置期間を9月12日まで延長しました。

8月以降、新規感染者の数は引き続き増加傾向にあり、新規感染者数も過去最大値の更新が継続しています。

加えてより感染力の強力なデルタ株が拡がる中、感染経路は飲食に代わり夏休みやお盆休暇中の家庭内感染や職場内感染が増加しており、年代も10歳未満から40代までの感染が顕著となっています。

更に、対応する県内の医療体制も切迫する等、深刻な状況が継続しています。

2 豊見城市の現況

豊見城市における感染状況も、沖縄県と同様に増加、高止まりの状況が継続しており、感染経路も家庭内感染、職場内の感染が、年齢層も10歳未満から40代の新規感染者の増加が確認されています。

3 緊急事態宣言下の豊見城市としての対応

豊見城市は、人と人の接触機会を徹底的に低減するため、市の主催する事業及びイベントについては中止または延期を基本として対応しています。

学校、社会福祉施設、保育所等については、県のガイドラインに沿った感染防止対策を徹底した運営を継続しています。

また、酒類やカラオケ設備を提供する飲食店へは職員が巡回して休業要請を行う等の働き掛けを行っています。

市民に対するワクチン接種も、国からのワクチン供給を確認し、可能な限りの加速化を図っています。

4 市民の皆さんへのお願い

新型コロナウイルス、特に感染力の強いデルタ株の感染拡大防止には、徹底した人流の抑制が必要であり、県境を越えるまたは離島への移動の自粛に加え、これまで以上に外出の自粛をお願いします。緊急事態宣言間の外出は、生活必需品の買い物や通院等の必要最小限にしてください。

また、感染防止の切り札としてのワクチン接種については順次年齢層を拡げるとともに、基礎疾患等の優先接種枠に新たに妊婦及びそのパートナーを追加します。

引き続き、マスクの着用、小まめな手洗い、手指の消毒を徹底するとともに、家庭や職場にウイルスを持ち込んで家族や同僚、特に妊婦や子供たちに感染を広げないよう、大切な家族を守る、医療をつぶさない感染防止にご協力をお願いします。